

訂 正

応用薬理 87(3/4)81-85(2014) 野嶋ら

パイナップル由来セラミド経口摂取による日本人女性の皮膚機能改善効果

ページ番号 (行番号)	誤	正	修正理由
82 (27, 30, 37, 93)85 (41)	シミ	皮膚の色調	評価法を基盤とした表現に変更
82 (76), 84 (8), 85 (6) Table. 1	a 値、b 値 (Table. 1) A value, B value	a*値、b*値 (Table. 1) a* value, b* value	誤植
81 (abstract 8)	transepidermal water loss from cheek and forearm skin	transepidermal water loss from cheek skin	and forearm を削除
82 (87)	平均値±標準偏差	平均値±標準誤差	誤植
82 (94)-83 (2)	被験者は、セラミド0.6mg 含有群 16名 (平均年齢 44.3±4.9 歳)、セ ラミド1.2mg 含有群 15名 (平均 年齢 43.9±5.4 歳)、プラセボ群 15 名 (平均年齢 44.3±4.4 歳) で試験 を終了	被験者は、セラミド0.6mg 含有群 16名 (平均年齢 44.3±1.2 歳)、セ ラミド1.2mg 含有群 15名 (平均 年齢 43.9±1.4 歳)、プラセボ群 16 名 (平均年齢 44.3±1.1 歳) で試験 を終了	誤植、標準偏差から標準誤差へ統 一
84 (3)	L*値の上昇が示された.	L*値の上昇が示された (Fig. 1) .	混乱を招かないための加筆
84 (4-6)	L*値が上昇を示した.群間比較で は、セラミド1.2mg 含有群におい ては、プラセボ群と比較して、有 意な差が認められ (p<0.05) セラ ミドの摂取による L*値の上昇が 示され、	L*値が上昇を示し、セラミドの 摂取による L*値の上昇が示され、	混乱を招く文章を削除
84 (8)	L*値の上昇が示され、シミの軽 減が示唆された (図 1) .	L*値の上昇が示され、シミの軽 減が示唆された.	上記の変更による (図 1) の削除
85 (4)	セラミド 0.6mg 摂取群, 1.2mg 摂 取群ともに	セラミド 1.2mg 摂取群に	誤植
85 (12-14)	被験者は、セラミド0.6mg 含有群 11名 (平均年齢 44.8±3.4 歳)、セ ラミド1.2mg 含有群 13名 (平均 年齢 45.5±4.6 歳)、プラセボ群 13 名 (平均年齢 45.5±3.8 歳) で終了 した.	被験者は、セラミド0.6mg 含有群 11名 (平均年齢 43.8±0.7 歳)、セ ラミド1.2mg 含有群 8名 (平均年 齢 43.4±1.1 歳)、プラセボ群 11 名 (平均年齢 44.5±1.0 歳) で終了 した.	誤植、標準偏差から標準誤差へ統 一
85 (16)	セラミド 1.2mg 含有群, ならび に、セラミド 0.6mg 含有群が, 摂 取前と比較して有意	セラミド 1.2mg 含有群で減少傾 向が認められ (P=0.055), セラ ミド 0.6mg 含有群が, 摂取前と比 較して有意	1.2mg の p 値を記載
84(Table2)	% of changes	changes	%を削除 (誤植)
84(Fig.1)	Fig.1	変化量のグラフへ変更する	Table1 と同じ内容のため変化量 のグラフに差し替え

Fig.1 (誤)

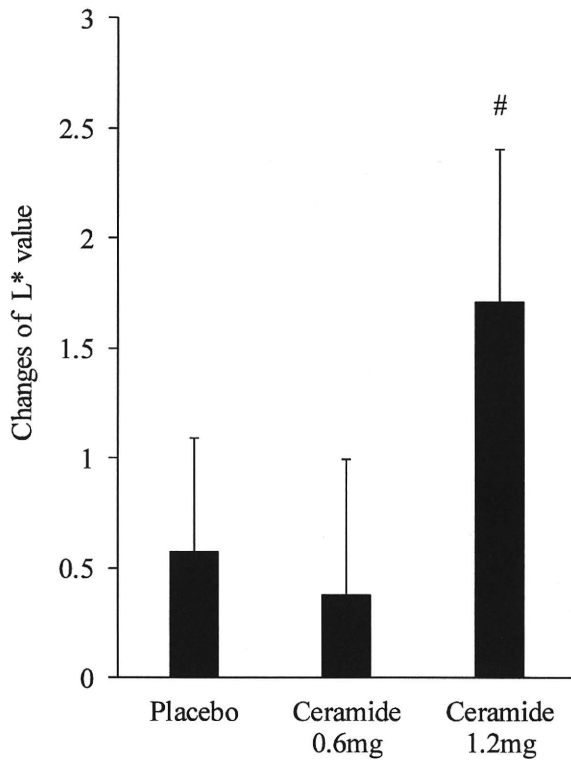


Fig. 1. Changes in L* value of forearm skin at week 4.
 Mean \pm SE. # Significant difference from Placebo group: $p < 0.05$; (unpaired t test).

Fig.1 (正)

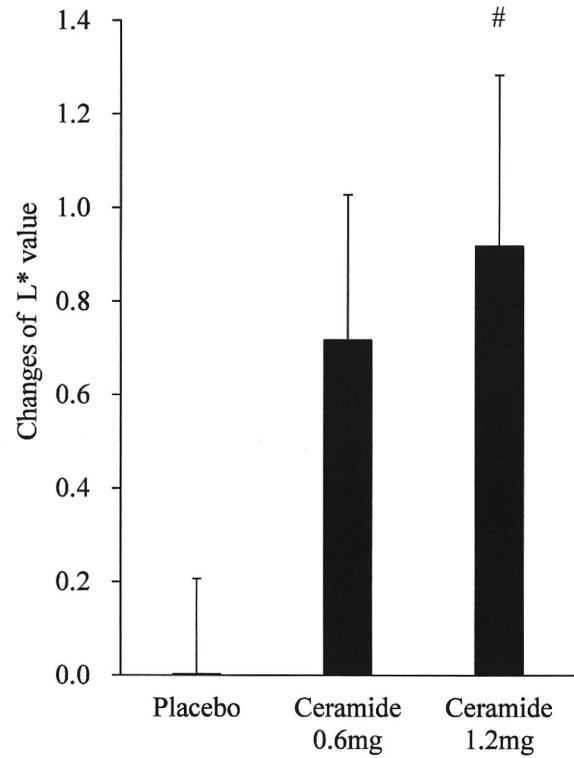


Fig. 1 Changes in L* value of forearm skin at Week 4.
 Mean \pm SE. #: Significantly different from Placebo group: $p < 0.05$; (unpaired t test).